

佐倉市印南小学校 GIGAスクール構想に向けて

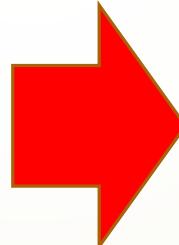
令和5年度佐倉市教育委員会から出された各校が目指す取り組みについて

印南小学校でもステップ2・3を目指します。

令和5年度の取組

各学校が目指す新たな取組

- ①実践の共有と拡充
 - 市内全校の実践例を共有できるフォルダを工夫して実践例のさらなる拡充を目指す。
 - ②タブレット端末を活用した学びのステップアップを目指す
 - ステップ1からステップ2、ステップ3への移行
→下記の場面における活用機会の向上を目指す
 - 「児童生徒が自分で調べる場面」
 - 「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」
 - 「教職員と児童生徒、児童生徒同士がやりとりする場面」
 - 「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」



佐倉市GIGAスクール構想学びのイメージ

学びのステップアップ

- ステップ4 教科の学びをつなぐ・社会課題等の解決・夢の実現**
例)大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考え方
に触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び(遠隔授業)

- ③ 教科の学びを深める・教科の学びの本質に迫る
※ 双方向型一斉授業
画像撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析を可能にする。
自分で収集した様々なデータをpc上で重ね合わせて深く分析する。

- 入力ツール：教科の子ひを求める教科の子ひの本質に迫る
※ 双方向型一斉授業
例・動画撮影で、振り返りやよりきめ細かな分析を可能にする。
・各自で収集した様々なデータをPC上で重ね合わせて深く分析する。

- 例) 検索サイトを用いて、授業テーマに応じて様々な文章や動画を収集する。(調べ学習)
・情報の真偽を判断し、整理する。(情報モラル教育)
・文章作成ソフトを活用し、推敲を重ねた長文のレポートを作成する。(表現・制作)

- 例・使い方を知る・ちょっとしたことを調べる・メッセージを送る

印南小学校では、このような場面での活用を想定して指導しています。

学びへの活用

ICTの「学び」への活用

“すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも”使えるICT

検索サイトを活用した調べ学習

- 一人一人が情報を検索し、収集・整理
- 子供たち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子供たち一人一人が考えをまとめて発表
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合い



一斉学習の場面での活用

- 誰もがイメージしやすい教材提示
- 一人一人の反応や考え方を即時に把握しながら双方向的に授業を進める



一人一人の学習状況に応じた個別学習

- デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



活用場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
A1 教員による教材の提示 挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	B1 個に応じる学習 デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った速度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、彼らの理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。  一人一人の習熟度の程度等に応じた学習 B2 調査活動 インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	C1 発表や話し合い タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力を育成することが可能となる。  グループや学年全体での発表・話し合い C2 授業での意見整理 複数の意見・考えを議論して整理
B3 思考を深める学習 シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B4 表現・創作 マルチメディアを用いた資料、作品の制作	C3 協働制作 グループでの分担、協働による作品の制作
B5 家庭学習 情報端末の持ち帰りによる家庭学習	C4 学校の壁を越えた学習 遠隔地や海外の学校等との交流授業	

※文科省「GIGAスクール構想の実現へ」より

児童のタブレット活用場面①

- ノートを撮影してクラス全体への共有しています。

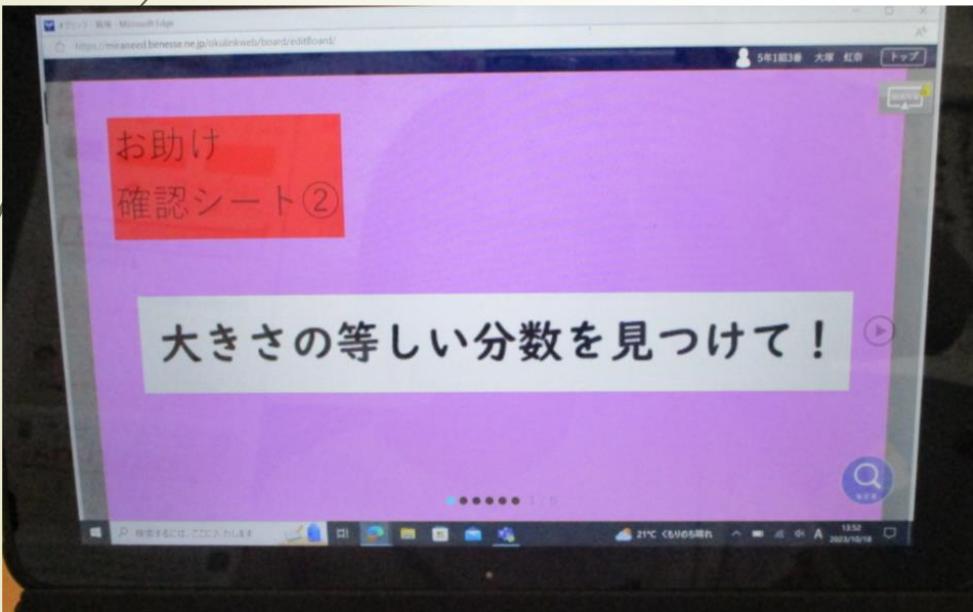
自分の考えが書けたよ。



どんな考え方があるかな。

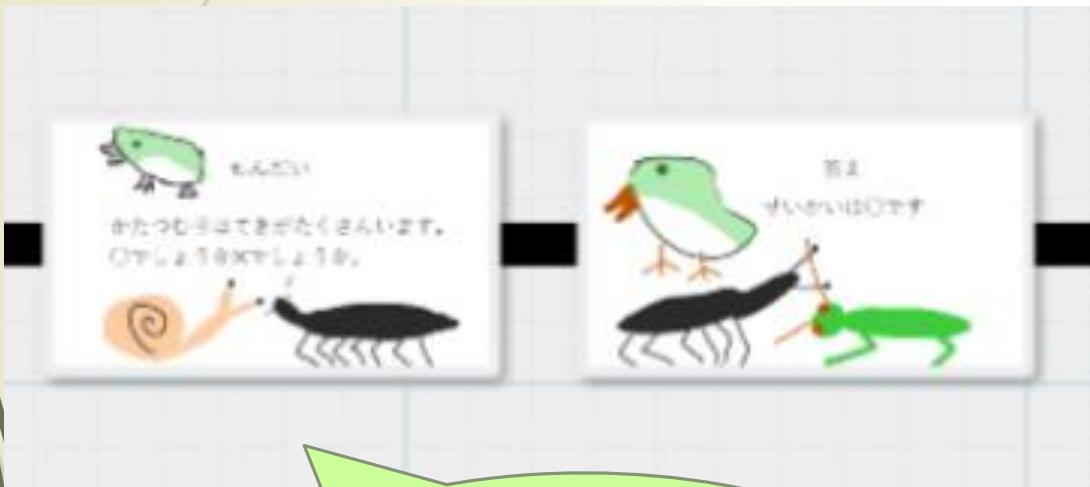
児童のタブレット活用場面②

- ▶ ヒントカードを見ながら自分で問題の解き方を考えます。



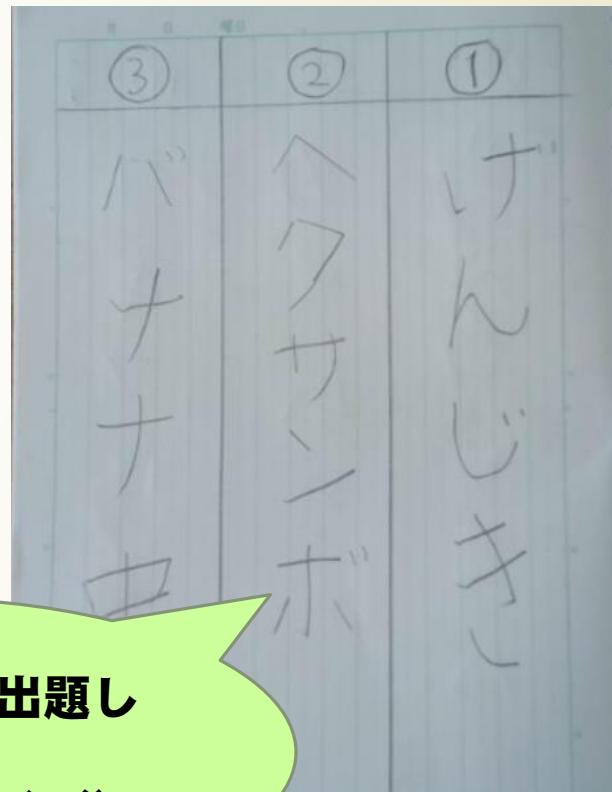
児童のタブレット活用場面③

- クイズをつくって出題することができます。



タブレットでつくりました。
(生きものクイズ)

ノートに考えて出題しました。
(地方の言葉クイズ)



児童のタブレット活用場面④

- 育てている植物の成長を記録しています。



どのように成長し
たか振り返ること
ができます。



児童のタブレット活用場面⑤

- 自分のつくった作品を写真で撮影したり記録したり友達と共有しています。

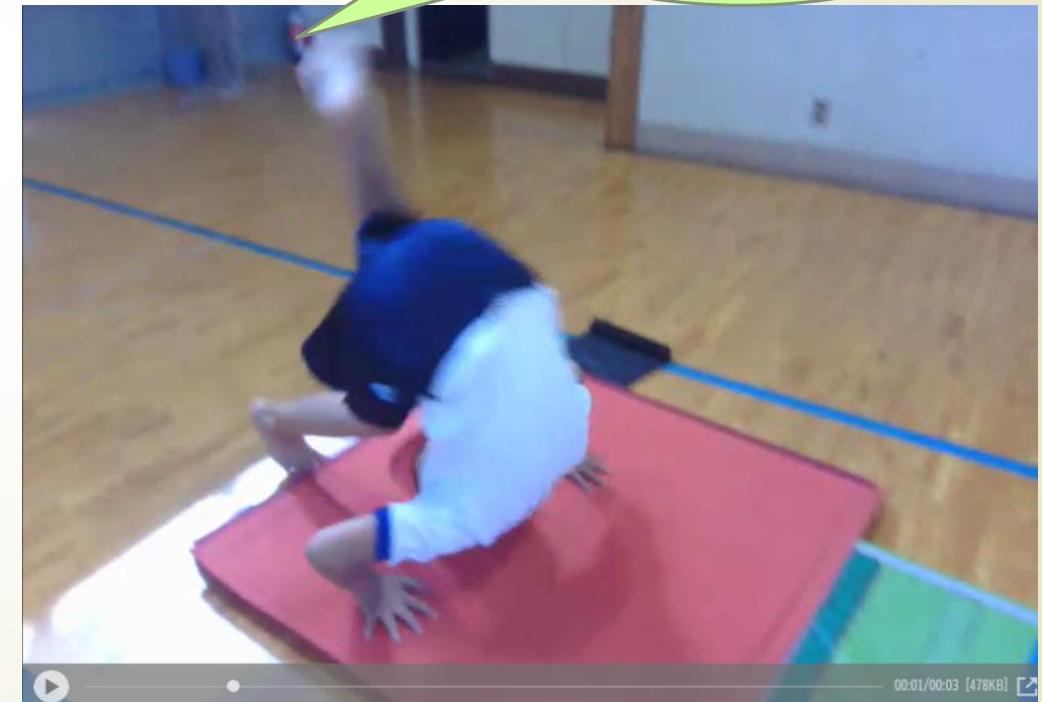
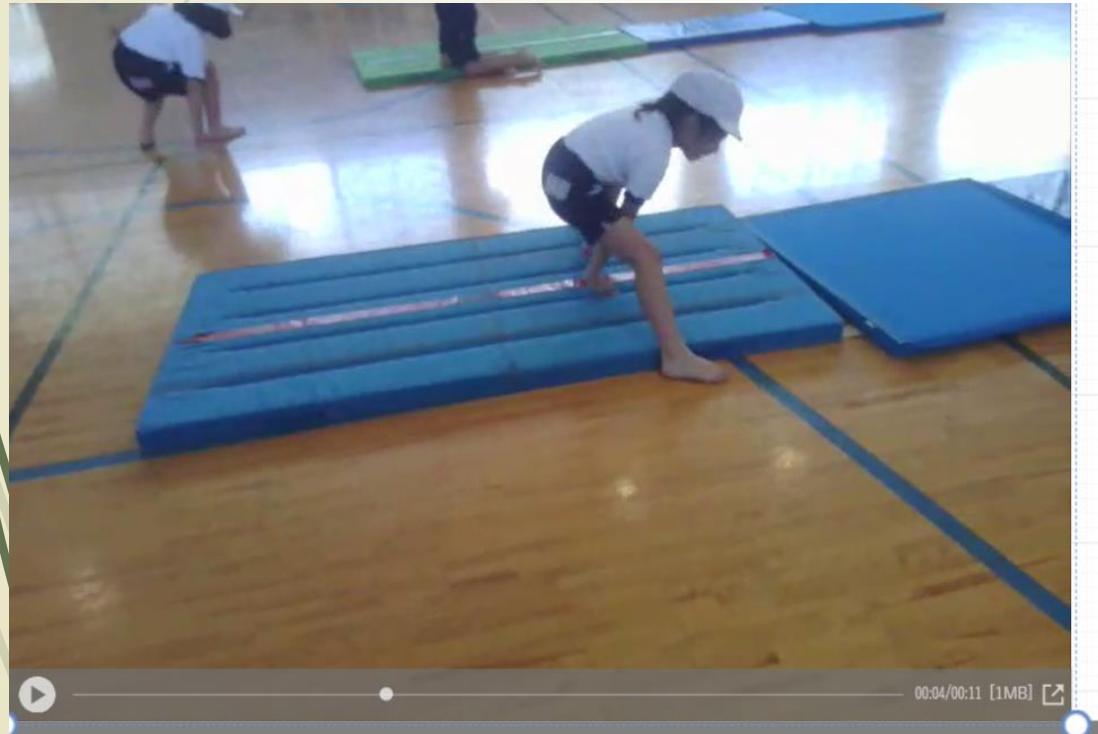


自分の作品や友達
の作品を見ること
ができます。



児童のタブレット活用場面⑥

- ▶ 体育の活動の様子を動画で撮影しています。



自分の動きを見返すことができます。

児童のタブレット活用場面⑦

- ▶ 音楽の練習の様子を動画で撮影してます



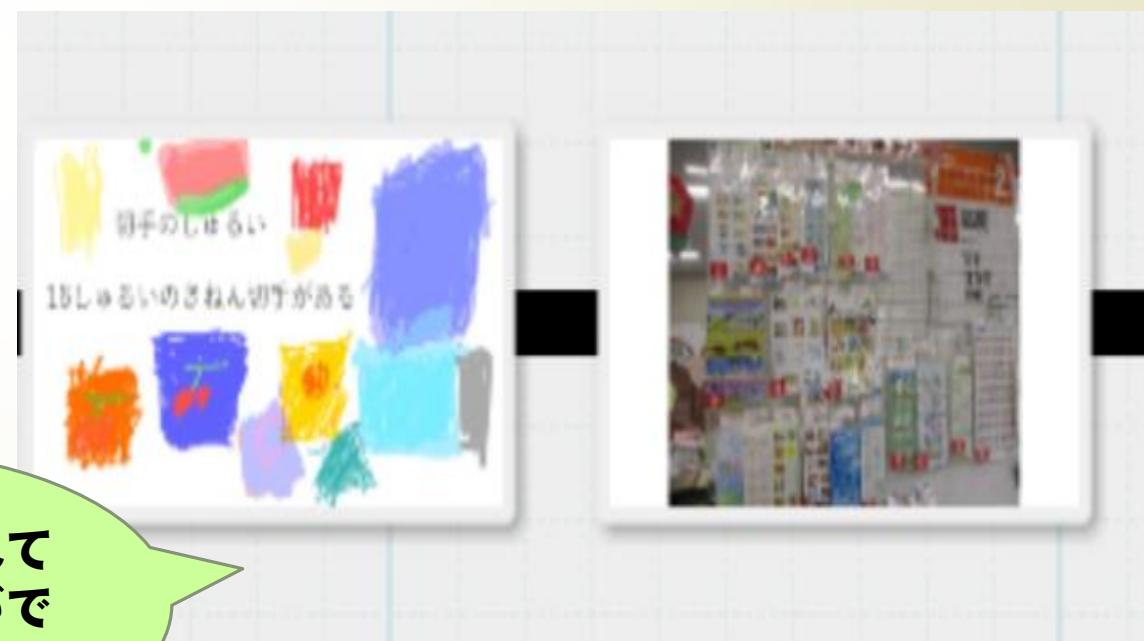
児童のタブレット活用場面⑧

► オクリンクを活用して調べたことや見学したことをまとめています。



- ①まず1804年 佐藤泰然が生まれて、
1810年堀田正睦が生まれました。
- ②次に1830年たいぜんは、医学を目指しオランダ医学を学ぶために長崎に遊学しオランダ医学を学ぶ。
- ③次に1837年に堀田正睦が老中になりました。
- ④次に1843年まさよしは、ろうじゅうをやめた。
- ⑤次にたいぜんは、1858年に東京 { 江戸 } にかえり、じゅくほひらきました。
- ⑥次に正睦の招きで佐倉に行き順天堂を開く。
- ⑦次に順天堂でいろんな手術をせいこうさせる。
- ⑧次に日本で初めてのぼうこうしゅじゅつを麻醉なしで成す。
- ⑨次に非常に無図かしい卵巣水腫も麻酔なしで成功させた。
- ⑩次に泰然佐倉藩医になる。
- ⑪最後に泰然69歳で亡くなる。

絵や写真を入れて
まとめることができます。



児童のタブレット活用場面⑨

▶ PowerPointを活用して調べたことをまとめています。



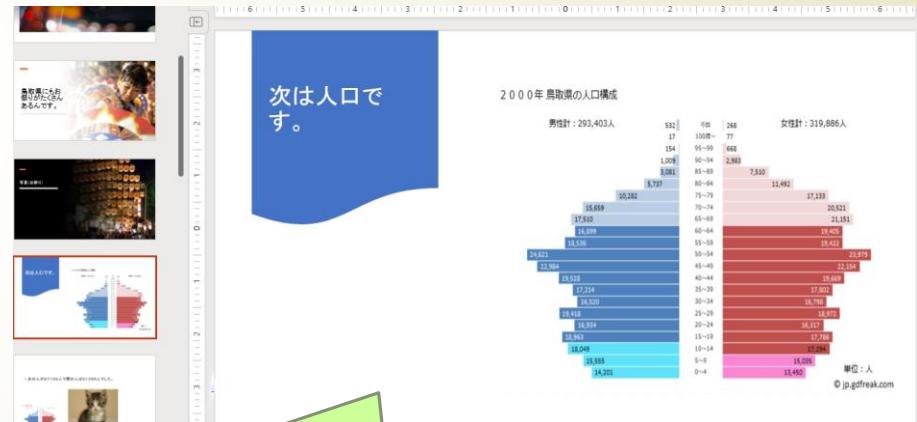
延覚寺

最初は、延覚寺！

僕たち1班は延覚寺の中へ入らせてもらい、様々な物を見せてもらい、延覚寺について教えてもらいました。

写真も撮らせていただいて皆、嬉しそうでした。

自分で撮影した写真をつかってまとめるることができます。



調べた資料を使ってまとめています。